

へいせい ねん がつ にち
平成20年 9月18日

さっぽろしちょう うえだ ふみお さま
札幌市長 上田 文雄 様

さっぽろしちょう しゃこうつうひじょせいじぎょうみなお かん ていげんしょ
札幌市 障がい者交通費助成事業見直しに関する提言書

さっぽろしちょう しゃ せいさくていげん おお しょう しゃ
札幌市 障がい者による政策提言サポーターは、これまで多くの障がい者からの
こえ き へいせい ねんど だい かいいていげんしょていしゆつ さくねん かい ていげん おこな
声を聞き、平成16年度の第1回提言書提出から昨年まで4回の提言を行ってき
ました。

ほんねんど ていげん し と く じょうきょう しら こうひょう
本年度については、これまでの提言と市の取り組み状況について調べて、公表
するをおも かつどう ひ つづ しみん いけん ていげん みみ
することを主な活動にしながら、引き続き市民からのご意見やご提言について耳を
かたむ
傾けようとしていたところです。

なか さっぽろし しょう しゃこうつうひじょせいじぎょうみなお ていあん
そうした中で、札幌市からの障がい者交通費助成事業見直しの提案は、あまり
とうとつ おお りようしゃ ふあん こんらん あた にんしき
にも唐突で、多くの利用者に不安と混乱を与えたと認識しています。

ほんねんど ていあん きんきゅう よう こうつうひじょせい ていげん
そこで、本年度の提案は、緊急を要する交通費助成についての提言といたしま
す。

しゆし
【趣旨】

さっぽろしちょう しゃこうつうひじょせいじぎょう みなお じっし へいせい
札幌市 障がい者交通費助成事業の見直し実施については、平成
ねん がつ じっし はや みおく ていげん
21年4月の実施は早すぎるので見送るように提言します。

りゆう
【理由】

しょうわ ねん さっぽろし たんどくじぎょう しんしんしょう しゃこうつうひじょせいじぎょう
昭和46年より札幌市の単独事業として心身障がい者交通費助成事業として
はじ へいせい ねん せいしんしょう しゃこうつうひじょせいじぎょう はじ さっぽろし
始まり、平成10年からは精神障がい者交通費助成事業も始まり、札幌市に
く しょう しゃ しゃかいさんが うえ ひじょう おお やくわり は
暮らす障がい者にとっては、社会参加する上で非常に大きな役割を果たし
てきたことは、皆さんが知っています。

そうした中で、今回の見直し案の提示については、唐突な感じがします。
本年2月26日に市議会厚生常任委員会で提示された内容については、案と
いいながら、障がい当事者団体に意見を求めることなく、ましてや我々障
がい者による政策提言サポーターすら知らされていませんでした。
さらに、見直し内容についても、外出調査アンケートの平均値が根拠になっ
ていますが、こうしたアンケートは、交通費助成制度のあり方についての別な
調査が必要であると考えます。
今回の見直し提案については、そもそもの出発点に問題があるものと考え
ます。こうしたことから、札幌市としては不信感を招いた今回の進め方につい
ての反省も必要であり、その上で、改めて障がい当事者をはじめ、
各種障がい者団体や家族、交通事業者等と、あり方について十分な時間
をかけて議論をしていくことを要望します。
さらに、議論にあたっては、障がい特性や交通の使用目的なども十分に
配慮しながら、進めることを要望します。
最後に、上田市長におかれましては、じかに障がい当事者の交通利用状況
について聞く場を設定いただきたくお願いいたします。

札幌市障がい者による政策提言サポーター一同